

地域密着型金融の取組みについて(平成28年度)

項目	取組み内容	成果(効果)	外部機関との連携																																																																																														
<p>経営改善支援</p> <p>お客様の経営改善・経営支援を目的として、コンサルティング機能を発揮するとともに、支援先へのモニタリングを行い、経営改善に向けてのサポートを行いました。</p> <p>なお、経営改善支援の取組実績は、以下のとおりです。</p>	<p>資産査定における要注意先及び破綻懸念先事業所全先に、営業店長との協議により支援先を抽出し、経営改善に取り組み致しました(28年度の支援先67先)。</p> <p>「経営支援先対応方針協議書」に基づいて、経営者と問題点や改善策を共有し、モニタリングによる進捗管理と外部機関の活用提案による改善支援に取り組んでおります。</p> <p>また、コンサルティング能力の向上を図るため、経営改善支援実務研修を信金中央金庫と連携して実施しております。</p> <p>【28年4月～29年3月】</p>	<p>計数計画策定先60先のうち、売上計画達成先は47先、利益計画達成先は25先となりました。</p> <p>また、債務者区分を5先ランクアップさせております。</p>	<p>東日本大震災事業者再生支援機構 宮城県よろず支援拠点 宮城県事業引継支援センター</p>																																																																																														
		(単位:先数)	(単位:%)																																																																																														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">期初 債務者数</th> <th rowspan="2">うち 経営改善支 援取組み先 数</th> <th colspan="3">aのうち期末</th> <th rowspan="2">経営改善支 援取組み率</th> <th rowspan="2">ランクアップ 率</th> <th rowspan="2">再生計画 策定率</th> </tr> <tr> <th>aのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数</th> <th>aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数</th> <th>aのうち再生 計画を策定し ている全ての 先数</th> </tr> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>a</th> <th>β</th> <th>γ</th> <th>δ</th> <th>a/A</th> <th>β/a</th> <th>δ/a</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正常先 ①</td> <td>942</td> <td>0</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>要 注 意 先 うちその他 ②</td> <td>251</td> <td>54</td> <td>2</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>21.5%</td> <td>3.7%</td> <td>92.6%</td> </tr> <tr> <td>うち 要管理先 ③</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>破綻懸念先 ④</td> <td>72</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>15.3%</td> <td>27.3%</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>実質破綻先 ⑤</td> <td>36</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5.6%</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>破綻先 ⑥</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小計 (②～⑥の計)</td> <td>363</td> <td>67</td> <td>5</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>18.5%</td> <td>7.5%</td> <td>89.6%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,305</td> <td>67</td> <td>5</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>5.1%</td> <td>7.5%</td> <td>89.6%</td> </tr> </tbody> </table>				期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組み先 数	aのうち期末			経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率	aのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数	aのうち再生 計画を策定し ている全ての 先数		A	a	β	γ	δ	a/A	β/a	δ/a	正常先 ①	942	0		0	0	0.0%		-	要 注 意 先 うちその他 ②	251	54	2	50	50	21.5%	3.7%	92.6%	うち 要管理先 ③	0	0	0	0	0	-	-	-	破綻懸念先 ④	72	11	3	8	8	15.3%	27.3%	72.7%	実質破綻先 ⑤	36	2	0	2	2	5.6%	0.0%	100.0%	破綻先 ⑥	4	0	0	0	0	0.0%	-	-	小計 (②～⑥の計)	363	67	5	60	60	18.5%	7.5%	89.6%	合計	1,305	67	5	60	60	5.1%	7.5%	89.6%
	期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組み先 数	aのうち期末					経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率																																																																																							
			aのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数	aのうち再生 計画を策定し ている全ての 先数																																																																																												
	A	a	β	γ	δ	a/A	β/a	δ/a																																																																																									
正常先 ①	942	0		0	0	0.0%		-																																																																																									
要 注 意 先 うちその他 ②	251	54	2	50	50	21.5%	3.7%	92.6%																																																																																									
うち 要管理先 ③	0	0	0	0	0	-	-	-																																																																																									
破綻懸念先 ④	72	11	3	8	8	15.3%	27.3%	72.7%																																																																																									
実質破綻先 ⑤	36	2	0	2	2	5.6%	0.0%	100.0%																																																																																									
破綻先 ⑥	4	0	0	0	0	0.0%	-	-																																																																																									
小計 (②～⑥の計)	363	67	5	60	60	18.5%	7.5%	89.6%																																																																																									
合計	1,305	67	5	60	60	5.1%	7.5%	89.6%																																																																																									

項目	取組み内容	成果(効果)	外部機関との連携
創業・新事業開拓支援			
<p>地域資源を活用した古民家再生プロジェクトに対する伴走型創業支援の実施</p>	<p>本事業は、過疎化が進む漁業集落において、津波被害を受けた築80年の古民家をボランティアの協力により4年がかりで再生し、新たに飲食事業を創業しました。事業者は、震災直後から現在に至るまで同地区の復興ボランティアとして地域再生に尽力している団体で、復興作業を通して地元住民や漁業者等と強固な信頼関係を築き、全国から多数の小口寄付支援を受けながら古民家再生プロジェクトを進めました。</p> <p>同事業に対しては、古民家改修及び店舗設備にかかる経費を日本財団（わがまち基金）と連携した利子補給融資にて支援し、その他に事業計画策定支援、自金庫のネットワークを活用して、厨房設備、給排水設備業者の紹介を行う等、創業に際しての伴走型支援を実施いたしました。</p>	<p>同事業の目的及び事業効果については、古民家にて単に飲食事業を展開するのみでなく、「再生した古民家を地域住民がコミュニケーションをはかる場として活用」、「地元漁業者の協力を得ながら地場の新鮮な食材を提供する場として活用」、「地域情報発信と交流拠点として活用」を目的とし、事業効果として「地域コミュニティの再生と新たな地域雇用の創出」、「地元漁業者のモチベーション向上」に貢献しております。また、地域外からの観光客等に対して地域資源を有効に活用しながら当地域の魅力を大いに伝えることで地域活性化にも貢献しています。</p>	<p>日本財団（わがまち基金）</p>
成長段階企業支援			
<p>障害児の療育環境整備と居場所づくりに取り組むNPO法人に対する支援</p>	<p>本事業は、指定障害児通所支援施設を運営するNPO法人が、現有施設の定員が超過したことで新たな障害児童の受入れが困難となり、将来的な地域需要を見据えた上で新たな障害児支援施設を増設したものです。増設した施設では、「子育てに配慮が必要な障害児童の一時預かりを行い、様々な体験を通して楽しく学べるように支援を行う、日中一時支援事業」、「障害児ひとりひとりに合わせた支援計画のもとでスモールステップを積み上げ、様々な活動や体験を通して社会性や個人の成長を促していけるように支援を行う、放課後等デイサービス事業」の2つを展開しています。</p> <p>障害児通所支援施設の利用希望者が増加する背景には、震災により家族が分断され養育者を欠いた家庭が増加したことや、二重ローン等の経済的理由からこれまでの養育者が働くことを求められるなど、様々な家庭環境の変化が影響しています。</p> <p>本事業を進めるに際し、施設建設資金、開業時運転資金、遊具及び備品整備資金が必要となり、当金庫、日本政策金融公庫融資による支援、並びに信金中央金庫「しんきんの絆」復興応援プロジェクトの助成金支援によって遊具等を整備し、予定の事業計画が実現されました。</p>	<p>本事業の大きな目的は、障害児支援施設を増設し受入れ定員を増加させ、地域の障害児の居場所の拡充につなげ、家族支援と療育環境の向上を目指しています。事業効果として、サービス提供量の増加と質の向上が図れ、障害児の療育のための環境整備と療育教材の充足につながっております。また、地域雇用の創出と障害者福祉の向上にも大きく寄与する事業となりました。</p>	<p>信金中央金庫「しんきんの絆」復興応援プロジェクト 日本政策金融公庫</p>

項目	取り組み内容	成果(効果)	外部機関との連携
地域の面的再生への参画			
経営人材育成支援	<p>東日本大震災からの復興加速化、人口減少対策や雇用創出の前提となる地域産業の活性化には、新事業の創出、起業・創業が不可欠であり、地域の未来を担う企業家の育成と支援を目的に、「いしのまきイノベーション企業家塾」を平成26年度に開講しております。3年目となる平成28年度は、カリキュラムをこれまでの13回から14回に増やすとともに内容を充実させ、ビジネスプラン作成、経営戦略、人材・組織マネジメント等、経営者に必要な知識やノウハウを、塾生26名が学びました。また、3年間の卒塾生70名が一堂に会する卒塾生交流会を開催し、志の高い企業家の連携強化を進めております。</p>	<p>創業実績は3件(設計・コンサルティング、飲食サービス、タイヤ等車両関連)となっており、そのほかにも新事業への進出、既存事業の改善に着手する契機となっています。また、塾生同士のネットワークが構築されるとともに、塾生の意識改革も進んでおり、地域経済の支援強化にも繋がっております。</p>	<p>石巻市、日本財団、東北大学・石巻専修大学、特定非営利活動法人アイ・エス・エル(ISL)</p>
商品開発等の研修会開催	<p>地域における食産業関係事業者間の連携強化を図り、県産農林水産物と加工技術を活用した高付加価値商品の開発や販路拡大を促進することを目的として、「地域食材を活用した商品開発・販路拡大研修会」を開催しました。</p>	<p>消費者に選ばれる商品作りと販売促進、地域資源活用事業について学び、これからの商品づくりのポイントや異業種連携等の必要性等、認識を新たにしています。</p>	<p>宮城県東部地方振興事務所</p>